



## リハビリテーションセンターの拡大と 新たに導入したリハビリ機器

このたび、当院の増改築にともない、リハビリテーションセンターも約100㎡（畳で例えると66畳分）と広くなり、今まで2階と4階に分かれていた言語聴覚室が2階に集約されました。

そして、「重心バランスシステム」や「プライマスRS」などいくつかの機器を導入しました。

一部ではありますが、導入したリハビリ機器について紹介させていただきます。



### アイタッチ2

高次脳機能や上肢運動機能の評価と訓練がおこなえます。

ボード上にある36個のボタンが光り、その光るボタンを押す時間を計測することや見落としたボタン等を記録し、詳しい分析・評価をおこないます。

また、立っている姿勢や座っている姿勢で出来る設定が可能な装置です

### ～ゲーム感覚で楽しみながら老化予防～

- 1) 注意力・集中力の向上
- 2) 認知症予防・進行の防止
- 3) 高齢者の機能低下予防      など

### ニュー・ウエイト

使用者の体重をバランスよく支え、個々の運動能力に合った自重に簡単に設定できます。免荷装置は、急性及び慢性の腰背部



痛から最先端のパフォーマンス強化に至るまで、どの分野においても重要で必要機器ですが、本製品は空気圧によって体重を「135Kg」まで免荷することのできる、新技術を採用した新免荷システムです。リハビリテーションやスポーツ・トレーニング分野で痛みの除去、及び痛みを許容できる環境を安全に提供し、また、身体を支えるワイヤーで転倒予防をし、リハビリ中にバランスを崩した場合でも転倒に対する恐怖心から解放され、安心して自信を持って運動できます。

今回の施設拡大と新たに導入された機器を有効に使用し、当院のリハビリテーションの質を向上させていきます。

リハビリ療法部 課長 真継 大輔

## 血圧脈波検査装置（ABI/PWV）の紹介

～あなたの血管年齢はおいくつですか～

血圧脈波検査装置は、手足の血圧を同時に測定することで、動脈硬化（血管の老化など）の程度や早期血管病を数値化し客観的に評価できる検査です。

動脈硬化の進行を放置すると、狭心症や心筋梗塞などの恐ろしい病気を引き起こす原因となります。

当院で検査ができます。一度ご相談ください。



毎週木曜日：循環器内科外来  
担当医：高橋 伯夫

## 外来診療ゾーン全面リニューアル

10月14日（火）

新外来での診察が始まりました。

診察室、待合、外来ロビーのスペースが広くなりました。また、新しく総合相談窓口を設置しました。お気軽にご利用ください。